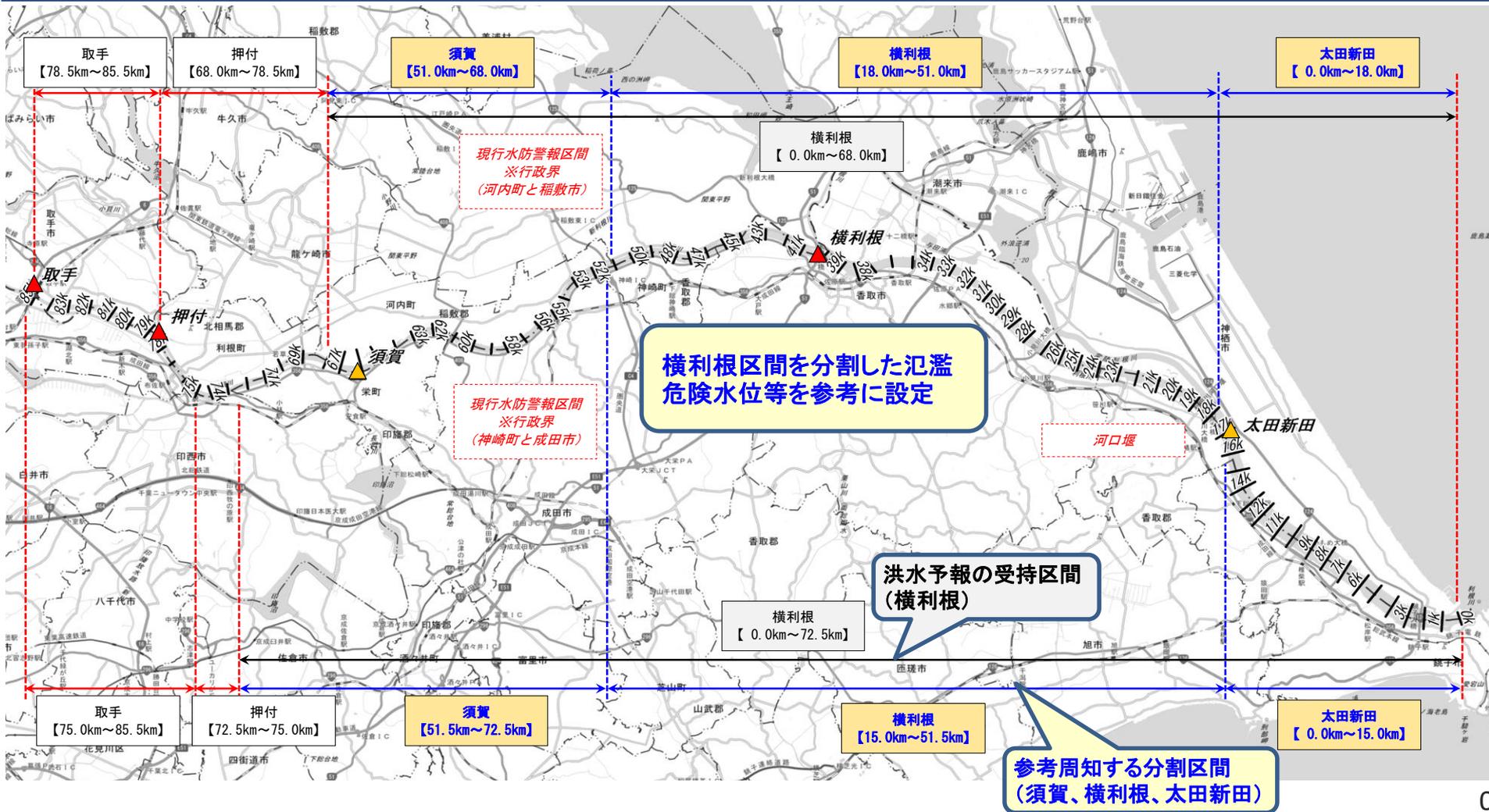


「氾濫危険水位等の参考水位情報」について

資料3

- **利根川下流洪水予報は取手水位観測所、押付水位観測所および横利根水位観測所で実施**
横利根水位観測所の受け持ち区間は約70kmと長い区間であり、洪水の危険性を身近に感じ難い。
- **須賀水位観測所、太田新田水位観測所の水位情報を参考に周知する**

横利根観測所受持ち区間内の須賀観測所、太田新田観測所により受持ち区間分割して、氾濫危険水位、避難判断水位相当の基準水位を設定した。これらを今後の洪水時に参考に周知する。



「氾濫危険水位等の参考水位情報」について

【基準水位】

観測所	基準水位 (上段:水位 下段:到達頻度(近10力年:H22~R1))				氾濫危険水位 避難判断水位 到達洪水
	水防団待機 水位	氾濫注意 水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	
太田新田	—	—	別途設定		
横利根※	2.10	2.85	3.90 (1回)	4.40 (1回)	R01.10洪水
須賀	2.75	4.95	6.70 (1回)	7.30 (0回)	R01.10洪水
押付	3.10	5.75	7.10 (1回)	7.80 (0回)	R01.10洪水
取手	2.50	5.40	6.90 (1回)	7.40 (0回)	R01.10洪水

参考基準水位

※:須賀、太田新田による受持ち区間分割の前後で基準水位の変更はない。

「氾濫危険水位等の参考水位情報」について

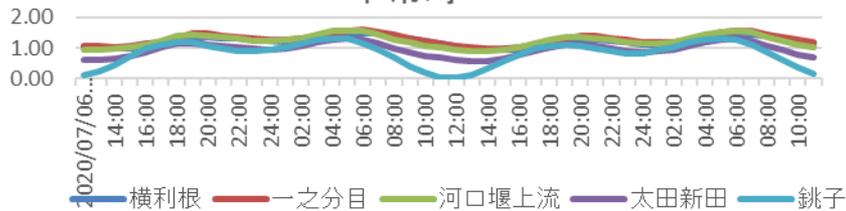
過去20年間に発生した主要な洪水での水位観測所のピーク水位及びピーク水位のラグ														
洪水発生年月日	ピーク水位 (Y.P.m)					ピーク水位経過時間(時間) 下段の()内は栗橋からの経過時間								
	栗橋	取手	須賀	横利根	太田新田	栗橋	→	取手	→	須賀	→	横利根	→	太田新田
						45.1km		18.9km		25.6km		24.3km		
平成10年(1998年) 9/16~9/17	19.600	9.499	6.863	3.881	2.465			9.0		3.0 (12.0)		2.0 (14.0)		3.0 (17.0)
平成13年(2001年) 9/11~9/12	18.730	9.629	7.003	4.171	2.845			9.0		3.0 (12.0)		-1.0 (11.0)		-1.0 (10.0)
平成14年(2002年) 7/11~7/12	18.380	9.379	6.703	3.871	2.765			9.0		3.0 (12.0)		2.0 (14.0)		5.0 (19.0)
平成19年(2007年) 9/7~9/8	18.910	9.249	6.533	3.851	2.665			10.3		1.3 (11.6)		2.0 (13.6)		-1.8 (11.8)
平成23年(2011年) 9/22	17.760	7.899	5.563	3.401	2.515			10.8		1.3 (12.1)		3.3 (15.4)		-1.3 (14.1)
平成25年(2013年) 9/17	17.180	6.319	3.993	2.441	1.915			12.8		2.7 (15.5)		0.0 (15.5)		-1.0 (14.5)
平成27年(2015年) 9/10~9/11	18.320	8.909	6.043	3.901	2.975			11.5		3.2 (14.7)		7.5 (22.2)		-0.8 (21.4)
平成29年(2017年) 10/23~10/24	18.450	8.549	5.853	3.481	2.685			9.7		1.0 (10.7)		6.7 (17.4)		-0.5 (16.9)
令和元年(2019年) 10/12~10/13	20.740	10.339	7.393	4.541	3.305			13.2		2.5 (15.7)		1.0 (16.7)		-0.7 (15.8)

本来洪水流は上流から下流に伝搬するが、近年の洪水を見ると横利根水位観測所よりも太田新田水位観測所の方がピーク到達時間が早い事が多い。

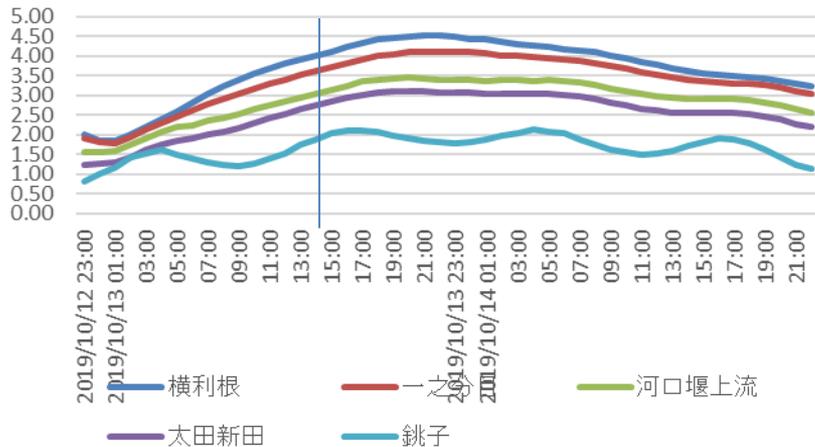
これは太田新田の水位が潮位の影響を受けているためであり、河口部周辺においては横利根水位観測所の水位情報では、現場の避難指示に支障が出ることが分かる。

「氾濫危険水位等の参考水位情報」について

平常時



洪水時



平常時に於いて水位の時系列変化から潮の伝搬は、銚子漁港から太田新田まで1時間程度、横利根まで2時間程度と思われ、洪水に関する情報提供は洪水の伝搬速度と潮位の伝搬を考慮して伝える必要がある。

銚子市河岸部の最低地盤高は2.0mであり、無堤部の場合この地盤高を超えると越水が発生すると考えられる。昨年台風19号時の水位で銚子が2.0mに達したときの太田新田の水位は2.8mであった。同台風での太田新田の水位上昇量は10cm/h程度であり、河口部での避難が避難勧告から4時間程度要すると想定した場合、40cm下げた2.40mが判断基準水位と考えられる。

出水時に於いて、太田新田水位観測所水位が2.40mを超え、更なる水位上昇が予測される場合、関係組織に避難誘導の連絡をするものとする。

なお、判断基準水位は今後精査し、変更する場合もある。